

令和3年度事務事業評価表

事務事業名	災害ボランティア活動支援			担当課	ボランティア・地域貢献活動センター	事業種別	自主
				担当係	推進係		
開始年度	平成20年度	計画体系	3 自分らしく安心して暮らせるまちをつくります ⇒ (3)災害ボランティア活動の支援				
根拠法令等	災害時におけるボランティア活動等に関する協定・葛飾区地域福祉活動計画						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	ボランティア・地域貢献活動支援事業	サービス	災害ボランティア活動支援事業	
事務事業目的	災害時に多くのボランティアが効果的かつスムーズに活動できるよう、災害ボランティア活動支援体制の充実を図り、区民が安心して暮らせる環境づくりを進める。						
実施内容	<p>【概要】</p> <p>1 災害ボランティア講座 (1) 入門編 (2) 応用編 (3) 体験講座</p> <p>2 登録制度 (1) 災害ボランティア登録 (2) 登録者へのレベルアップ研修</p> <p>3 普及啓発 (1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (2) 地域の防災訓練への参加 (3) 災害ボランティア基本マニュアル・災害ボランティアセンター運営マニュアルの活用</p> <p>4 連携体制づくり (1) 災害ボランティアセンターブロック会議 (2) 災害ボランティアセンターブロック連携訓練 (3) 区内ボランティアグループ(要援護者支援団体)連絡会 (4) 災害支援団体(NPO・NGO)などとの連携協議</p> <p>5 避難者の孤立化防止 (1) 被災地や避難者支援に関する情報提供 (2) 被災者向け地元新聞の閲覧</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	H31	R2
成果	講座受講者数	—	人	目標	120	120	120
				実績	140	49	22
成果	登録者数(新規)	—	人	目標	30	30	30
				実績	30	20	38
活動	訓練実施回数	—	回	目標	2	1	1
				実績	2	1	1
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)		H30	H31	R2
収入	特定財源			
	一般財源 (a)	1,810,131	2,445,482	2,212,208
支出	事業費 (b)	424,631	581,402	348,128
	職員人件費 (c)	1,385,500	1,864,080	1,864,080
	業務量(人)	0.17	0.24	0.24
	間接費 (d)	0	0	0
	調整額 (e)	0	0	0
	退職給与引当	0	0	0
		0	0	0
	(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	1,810,131	2,445,482	2,212,208	

単位当たりコスト(円)	H30	H31	R2
単位の定義	災害ボランティア登録者数(人/新規)		
実績数値 (g)	30	20	38
単位あたり社協単コスト (a/g)	60,338	122,274	58,216
単位あたりコスト (f/g)	60,338	122,274	58,216

実施状況に対する評価	<p>コロナ禍に伴い講座や防災訓練は中止となったが、感染防止を図りながらレベルアップ研修や災害ボランティアセンター立ち上げ訓練は実施することができた。</p> <p>職員はもちろん、災害ボランティア登録者においても、研修や訓練を通して災害ボランティアセンターの機能や役割の更なる理解が進んできている。</p> <p>ただ、災害支援団体(NPO・NGO)などとの連携体制はまだ十分ではないので、引き続き、連携体制の強化に取り組んでいかなければならない。</p>
今後の方向性【改善】	<p>地域の防災訓練への参加や講座などを通して、災害ボランティア活動・災害ボランティアセンターのPRを積極的に行っていく。</p> <p>葛飾が被災した際に災害ボランティアセンターの運営を円滑に行えるよう、ブロック間の社協や災害支援団体(NPO・NGO)、要援護者の支援を行っている団体などとの連携体制づくりを進めていく。</p> <p>また、被災地への職員派遣を積極的に行い、現地での被災者支援を通して得られる情報や手法などを葛飾が被災した時の被災者支援活動などに活用していく。</p>